

優秀賞

Delphi/400を利用した 各拠点PINGコマンド簡素化

松垣 秀昭 様

ライオン流通サービス株式会社
企画部



ライオン流通サービス株式会社
<http://www.lion-logi-s.co.jp/>

ライオン株式会社 100% 出資の物流子会社として、全国のグループ物流拠点、および協力物流事業者への委託業務を統括。倉庫管理・在庫管理・輸配送管理など、グループの物流業務全般を担っている。輸配送における CO2 削減など物流業務改善への積極的な取り組みを行っている。

業務課題

災害や緊急事態が発生した時、広域にわたり各拠点ごとの「システムの通信状況」を確認しなければならない。BCP 時の状況確認には、迅速さと正確さが求められるが、現在は 1 件 1 件 PING により確認しているため非効率という課題がある。

対応策として、各拠点の通信状況を一括で確認できる使いやすい GUI 画面を開発したい。

技術課題

IBM i 上なら PING コマンドは使用できる。同様に、GUI 画面からパラメータ付きのプログラムを実行し、PING が正常か異常かの判断が可能か。

技術課題の解決策

通信状況が正常か異常かを判断するために、PING コマンドを実行し、MONMSG

を取得する IBM i の CL プログラムを作成【ソース 1】。Delphi/400 より、IP アドレス調査対象のデータを読み込み後、CL プログラムを実行し、パラメータを取得することで各拠点の通信状況把握を実現した。

また、本機能のユーザーインターフェースとして、「IP アドレス調査」画面を Delphi/400 で新規に開発した。【図 1】【図 2】【図 3】

業務課題解決と効果

通信状況の一斉確認により、異常値の早期発見と対処が可能になった。誰でも使いやすい GUI 画面により、PING コマンドを知らない担当者でも、どこからでも通信状況を確認できる。

たとえば、仮に関東地区が被災したとしても、関西地区の従業員が容易に確認することが可能となった。

■

ソース1 PING要求のCL

【ソース1】 PING要求のCL

```
PGM    PARM(&PURL &PFLG)

/*-----*/
/* CHKPING : CHECK PING                */
/*-----*/

DCL    VAR(&PURL) TYPE(*CHAR) LEN(128)
DCL    VAR(&PFLG) TYPE(*CHAR) LEN(1) /* 1:OK 2:NG */

DCL    VAR(&STATUS) TYPE(*CHAR) LEN(4) VALUE('UP ')
DCL    VAR(&MSG) TYPE(*CHAR) LEN(132)

MONMSG MSGID(CPF0000) EXEC(GO TO CMDLBL(ERROR))

PING    RMTSYS(&PURL) MSGMODE(*QUIET *ESCAPE)
MONMSG MSGID(TCP3210) EXEC(DO)
CHGVAR VAR(&STATUS) VALUE('DOWN')
ENDDO

CHGVAR VAR(&MSG) VALUE(&PURL *TCAT ' ' *CAT &STATUS)
GO TO  SNDMSG

RETURN

ERROR: /* RCVMMSG MSGTYPE(*LAST) RMV(*NO) MSG(&MSG) */
GO TO  CMDLBL(ENDPRO)

SNDMSG:
/* SNDPGMMSG MSG(&MSG) TO MSGQ(*TOPGMQ) MSGTYPE(*DIAG) */

IF     COND(&STATUS *EQ 'UP ') THEN(DO)
  CHGVAR VAR(&PFLG) VALUE('1') /* OK */
ENDDO

IF     COND(&STATUS *EQ 'DOWN') THEN(DO)
  CHGVAR VAR(&PFLG) VALUE('2') /* NG */
ENDDO

ENDPRO:
ENDPGM
```

図1 初期画面



図2 正常画面



